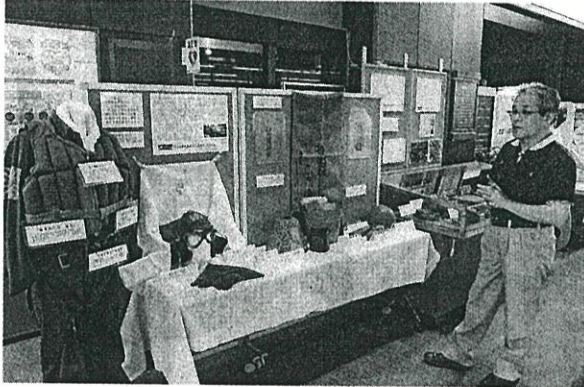


熊本空襲 実感してほしい

市民団体「くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク」(高谷和生代表)と熊本教委は10日から、同市中央区の市立図書館で企画展「絵本・戦時資料から見た熊本空襲」を開く。8月26日まで。

企画展「絵本・戦時資料から見た熊本空襲」について説明する高谷和生代表＝熊本市中央区



熊本市立図書館 きょうから企画展

た熊本空襲」を開く。8月26日まで。

熊本空襲(1945年7月1日、8月10日)で投下されたとみられる不発弾が、昨年7月に見つかったのを機に、平和の尊さを学んでもらおうと企画。戦時資料コレクターの松山強さん(60)＝荒尾市＝と、元高校教諭の上村真理子さん(64)＝宇城市＝が集めた約70点を展示する。空襲への心構えを描いた絵本や雑誌のほか、灯火管制用の電灯カバー、拍子木、乳児用の防空頭巾など、空襲に備えて使われた日用品が中心。日本海軍飛行機の貴重な軍装品も並べる。

高谷代表(63)は「不発弾の発見は、熊本空襲が終わっていないことを実感させられた。いろんな世代の人に見てほしい」。8月11日は上村さんの講演もある。無料。先着40人。同図書館☎096(363)4522。(臼杵大介)